

放射線情報まとめニュース

ライフ とみおか



Topics

放射性物質測り隊

町内の海水・河川水・降水の放射性物質濃度調査
(令和4-7年度)

P1-4



紅葉川 河口



富岡川 (門口堰)



富岡海水浴場

Contents

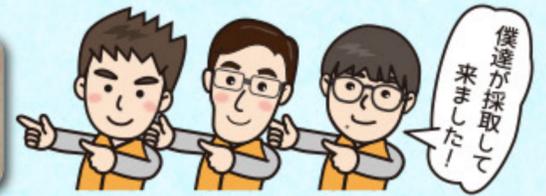
- P5-6 / 放射線に関する
車座意見交換会を開催しました
- P7 / 町内で採れた旬! な自家消費食材

Cover photo / 海水や河川水の採取場所

(令和6年6月~7月撮影)

今号の特集記事では、令和4年度から令和7年度に町内で採取した海水・河川水・降水の、放射性物質濃度の調査結果を掲載しています。

放射性物質測り隊



町内の海水・河川水・降水の放射性物質濃度調査(令和4-7年度)

令和5年8月から、ALPS処理水の海洋放出が計画的に進められています。

町では町内の海水・河川水・降水の放射性物質濃度(トリチウム・セシウム)の調査を海洋放出前の令和3年5月より定期的に行っています(ライフとみおかvol.15・vol.19・vol.26で紹介)。

今回は、弘前大学の協力のもと町が実施した、令和4~7年度のトリチウム濃度の測定結果をご紹介します。



▲ライフとみおか
バックナンバー

●海水・河川水・降水の採取地点



処理水の海洋放出量

年度	放出回数	放出期間	放出量[兆Bq]
令和5	1回目	8月24日 ~ 9月11日	1.1
	2回目	10月5日 ~ 10月23日	1.1
	3回目	11月2日 ~ 11月20日	1.0
	4回目	2月28日 ~ 3月17日	1.3
令和6	5回目	4月19日 ~ 5月7日	1.5
	6回目	5月17日 ~ 6月4日	1.3
	7回目	6月28日 ~ 7月16日	1.3
	8回目	8月7日 ~ 8月25日	1.6
	9回目	9月26日 ~ 10月14日	2.2
	10回目	10月17日 ~ 11月4日	2.4
	11回目	3月12日 ~ 3月30日	2.4
令和7	12回目	4月10日 ~ 4月28日	2.9
	13回目	7月14日 ~ 8月3日	2.0
	14回目	8月7日 ~ 8月25日	3.0
	15回目	9月11日 ~ 9月29日	1.7
	16回目	10月30日 ~ 11月17日	2.0
	17回目	12月4日 ~ 12月22日	2.4

トリチウムは水素の放射性同位元素です。その詳細は、ライフとみおかvol.22で解説しています。

福島第一原子力発電所からはトリチウム(³H)以外の放射性物質が、安全に関する規制基準値を下回るまでALPS(多核種除去設備)で浄化した処理水を、トリチウム濃度が1,500Bq/L未満になるまで海水で希釈した後、令和5年8月より発電所より1km沖合に海洋放出しております。

処理水放出により、令和7年12月末までに31.2兆Bqのトリチウムが海洋に放出されています。



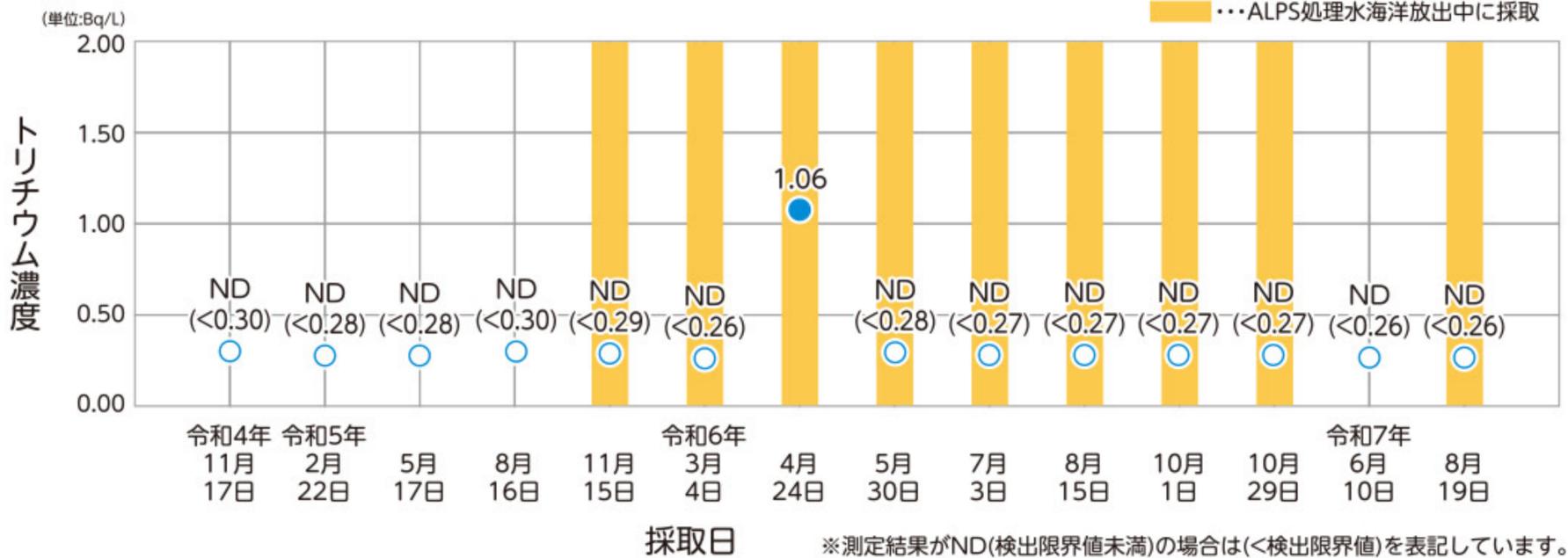
①富岡海水浴場

海水

トリチウム濃度測定結果

●測定値 ○ND(検出限界値未満)

■・・・ALPS処理水海洋放出中に採取



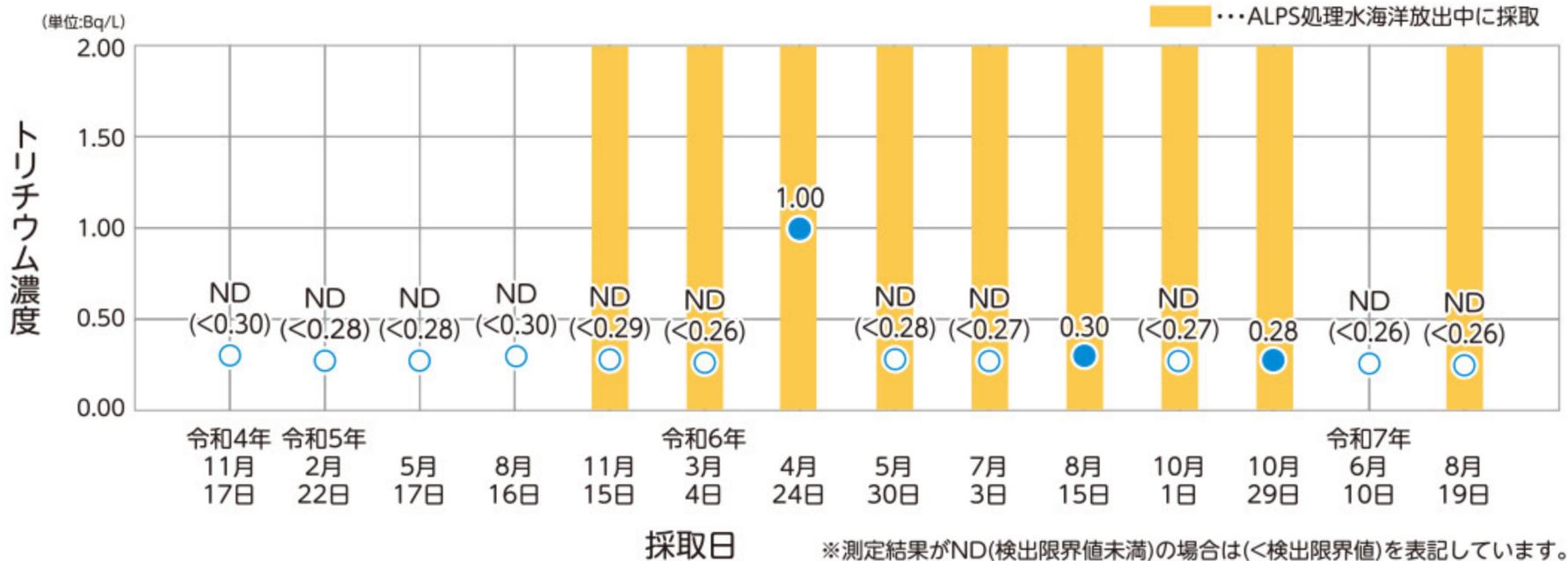
②紅葉川 河口

海水

トリチウム濃度測定結果

●測定値 ○ND(検出限界値未満)

■・・・ALPS処理水海洋放出中に採取



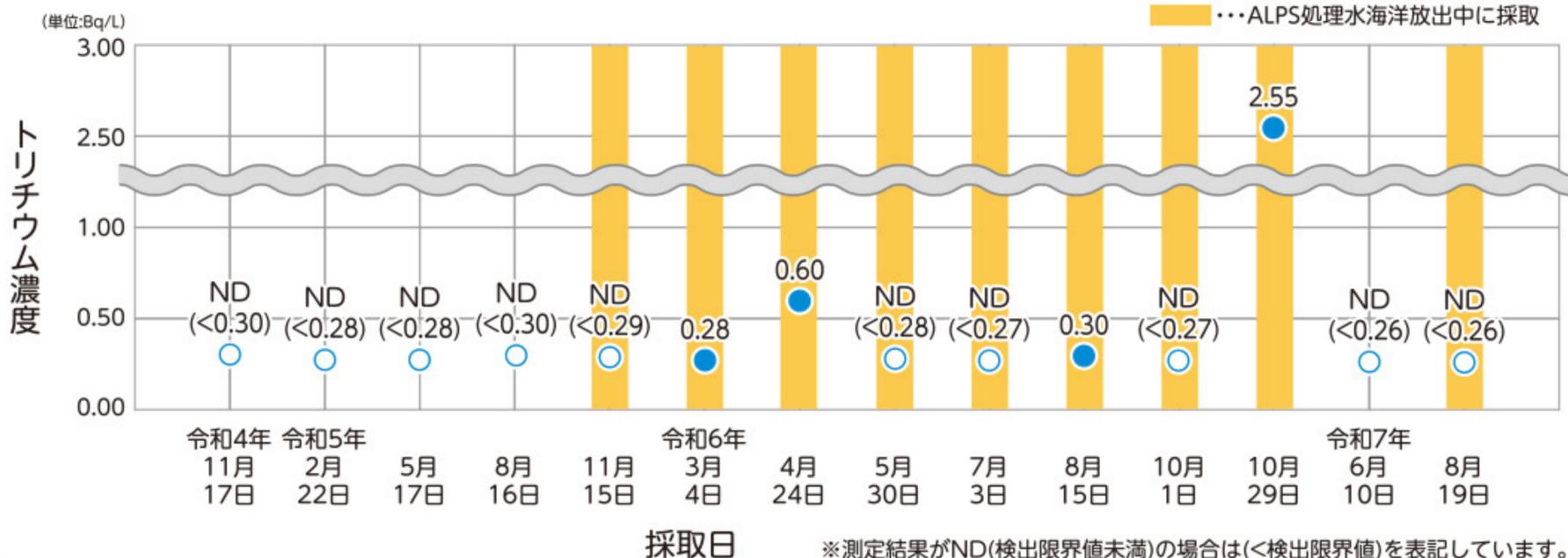
③境川 河口

海水

トリチウム濃度測定結果

●測定値 ○ND(検出限界値未満)

■・・・ALPS処理水海洋放出中に採取

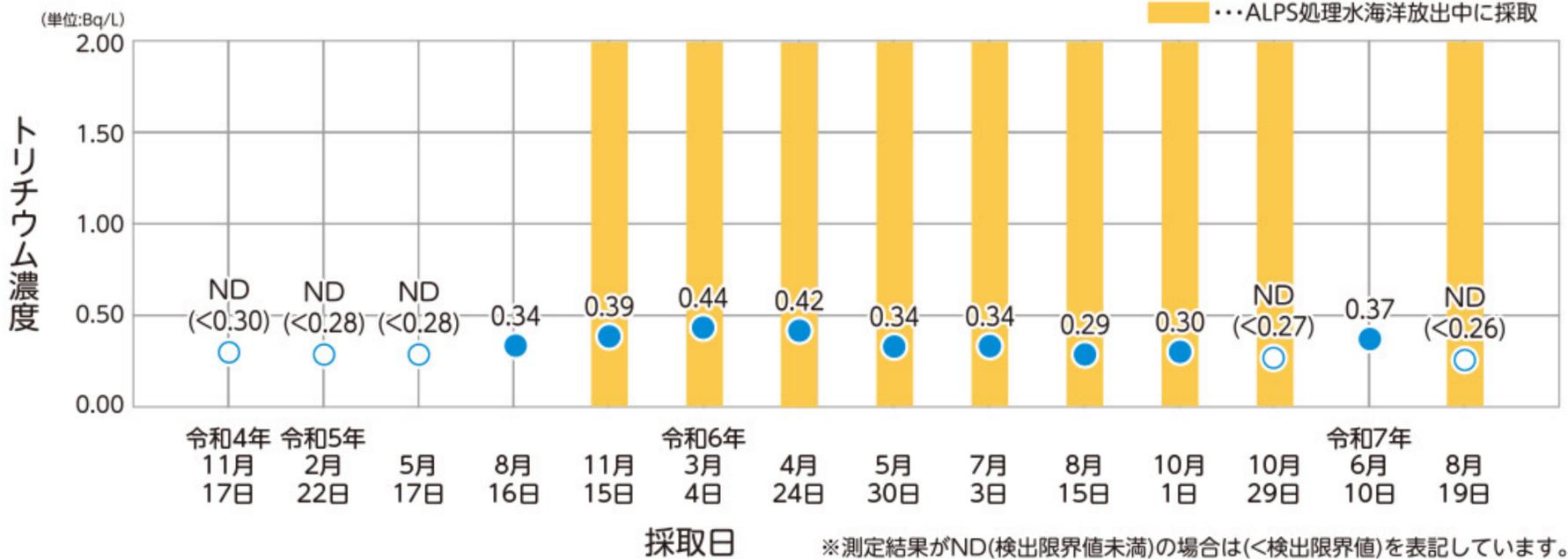


④富岡川 (中流)

河川水

トリチウム濃度測定結果

●測定値 ○ND(検出限界値未満)

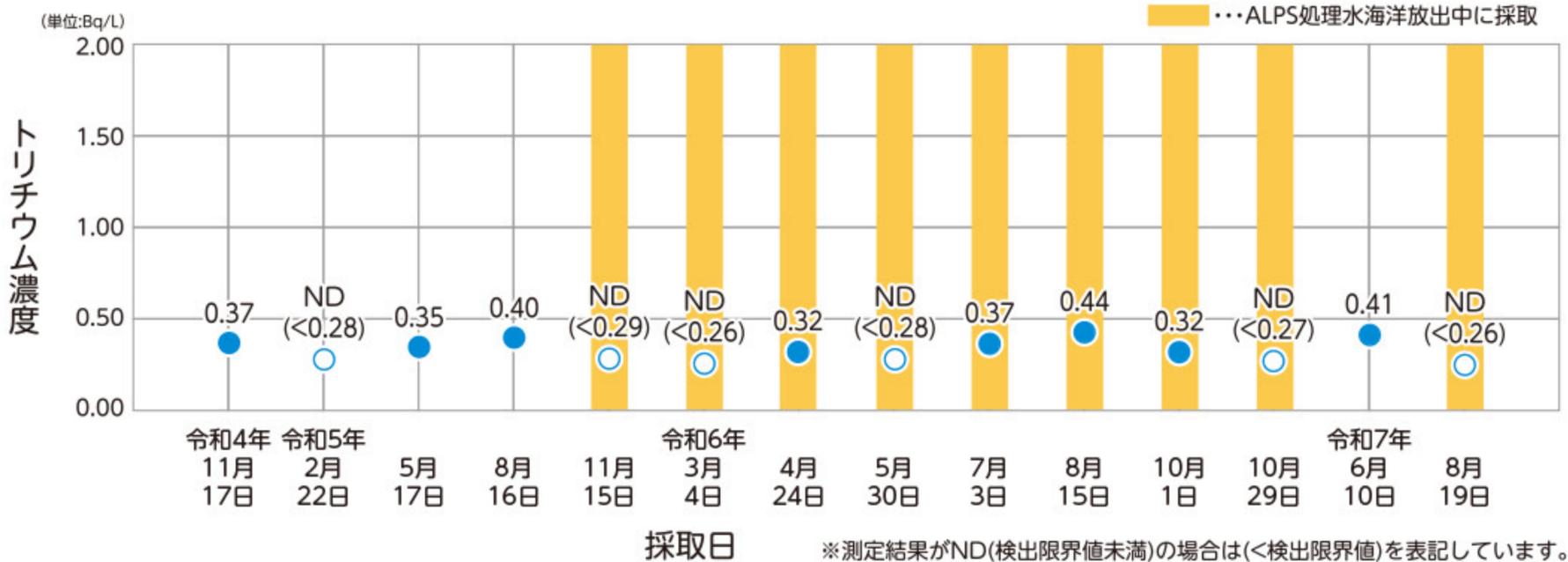


⑤紅葉川 (中流)

河川水

トリチウム濃度測定結果

●測定値 ○ND(検出限界値未満)



弘前大学被ばく医療総合研究所では、令和5年度11月より環境水に含まれるトリチウムの測定を実施しています。令和5年度の結果はライフとみおかvol.26ですでに紹介しています。今回はこれまでに測定された全てのデータを紹介します。トリチウムの測定法についてはライフとみおかvol.15をご覧ください。これまでの測定結果を見ると、令和6年10月29日に境川河口で採取された海水が比較的高い濃度を示していました(2.55±0.11Bq/L)。一般的に、海水は陸域の水に比べて低い濃度を示すことが知られていますが、このデータ

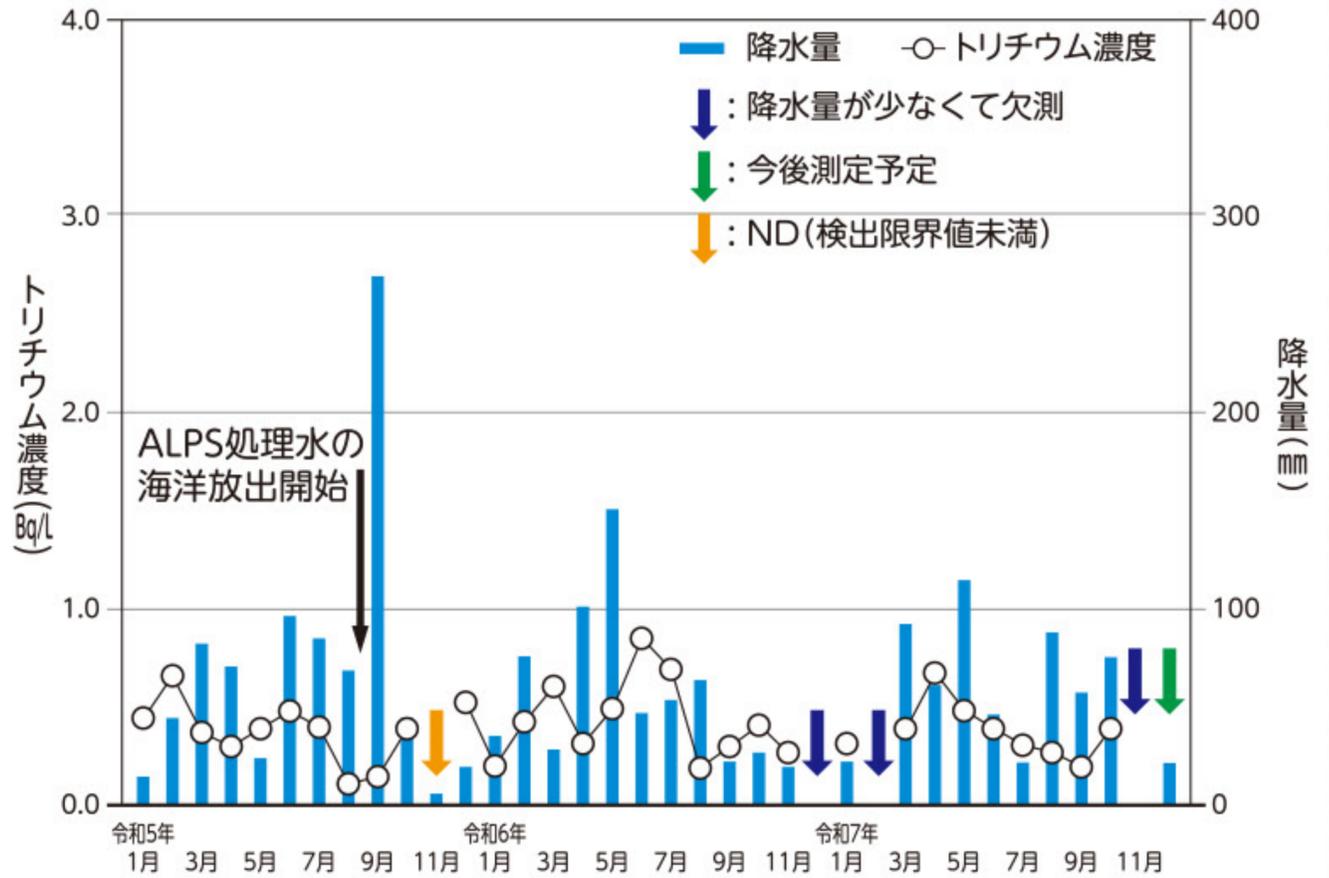
だけは逆転しています。この時は、ALPS処理水の海洋放出が行われていた時であり、令和6年10月17日から11月4日にかけて2.4兆Bqのトリチウムが沿岸海水に放出されています。そのため、境川河口海水はALPS処理水海洋放出の影響を受けた可能性が考えられます。ただし、この濃度は「海水モニタリングにおけるトリチウム・迅速分析の検出下限値(目標値)」の10Bq/Lを大きく下回っています。また、その後の測定結果では通常レベルに戻っていることから、その影響は断定的なものと言えます。



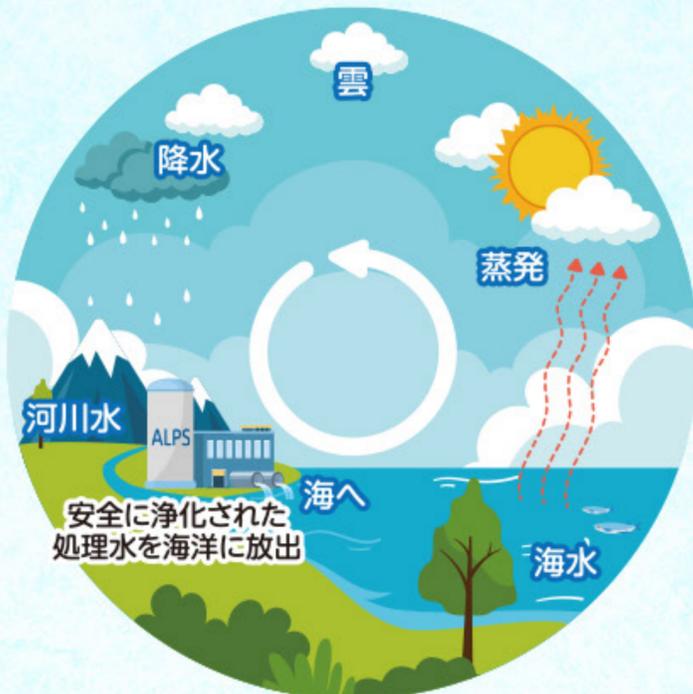
令和5年1月から令和7年10月までの富岡町で採取された月間降水中トリチウム濃度



富岡町食品検査所



弘前大学では富岡町で毎月の降水を採取し、トリチウムを分析しています。トリチウム分析に必要な雨が確保できない場合は欠測となっています。トリチウム分析は、極低濃度を測定するために様々な処理をした後に測定しています。データの一部は、ライフとみおかvol.30ですでに公表しています。これまでの月間降水中トリチウム濃度は0.10~0.84 Bq/Lで処理水海洋放出前後ではその濃度レベルに変化は認められませんでした。



沿岸海水中に放出されたALPS処理水は、海の中でさらに希釈されます。その後、一部は飛沫として、一部は蒸発することで大気中を拡散します。蒸発した海水は雲となり、雨や雪となり、河川や湖沼に影響を及ぼします。降水にALPS処理水の影響が認められないことから、大気への影響はなかったと判断できます。

コメント
赤田先生



トリチウムは、宇宙から降り注ぐ「宇宙線」と空気中の窒素や酸素との反応により、自然界でも生成されます。そのため、ALPS処理水の影響を正しく評価するためには、海水のトリチウムだけではなく、雨や雪、海に流れる河川水等も同時に測定することで、影響の有無を判断できる多くのデータが得られます。

弘前大学被ばく医療総合研究所では、今後も富岡町と連携しながら町の水の安全を確認していきます。

放射線に関する 車座意見交換会を開催しました



放射線に関する正しい知識を身につけることを目的とした車座意見交換会を、富岡町と放射線リスコミセンターの協働で、令和7年12月2日に開催しました。

いわき市にある「福島県水産海洋研究センター」を見学後、意見交換を行いました。

施設見学の様子



施設見学では、初めに福島県水産海洋研究センターの活動を紹介する動画を閲覧しました。その後施設担当者から、魚介類の安全・安心講座として、放射性物質の検査の概要や、福島県が行う安全・安心のための情報発信、今後の課題等について説明を受け、施設内を見学しました。



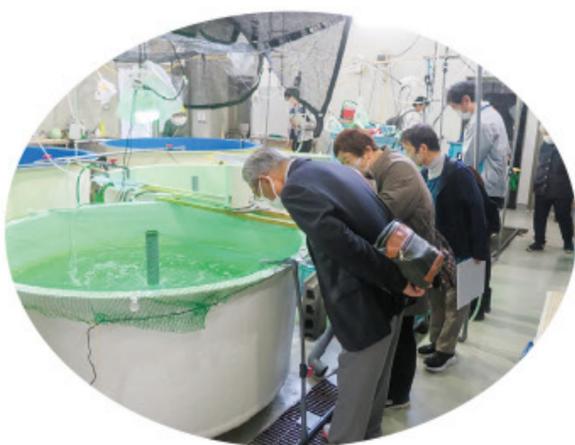
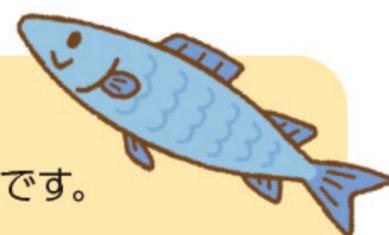
意見交換の様子

福島県水産海洋研究センターの見学を振り返り、感じたことや、普段の生活のなかで感じる放射線についての疑問等について意見交換を行いました。参加者からは活発な意見が挙がり、有意義な時間となりました。



参加者からの主な意見や感想

- ・検査、研究の話聞き、魚を安心して食べられることが分かりました。
 - ・放射線のことを考えすぎるのは良くないと思います。食べたい魚を食べたいです。
- 放射線については、人によって様々な考え方があります。
少しでも不安を感じる場合には、町へ相談してください。



施設見学や意見交換を通じて、放射線について新たな学びの会となりました。

環境省事業 **放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター**

☎ **0120-478-100** ✉ **F-sodan@nsra.or.jp**
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

住所 〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町1-6 いわきセンタービル5階

HPはこちら↓



暮らすにつながる
放射線リスクセンター

町内で採れた旬! 自家消費な食材



令和7年11月から令和8年1月
放射性セシウム濃度結果

単位：Bq/kg

■野菜・いも類 計7種 11検体

かぼちゃ 3検体	だいこん 1検体	長ねぎ 2検体	
はやとうり 1検体	さつまいも 2検体	さといも 1検体	
			とろろいも 1検体

■果物・種実類 計8種 21検体

いちご 1検体	柿 2検体	キウイ 4検体	みかん 2検体
ゆず 9検体	レモン 1検体	ぎんなん 1検体	栗 1検体

■山菜類 計1種 1検体

フキノトウ 1検体

■魚介類・その他 計3種 4検体

ペラ 1検体	キジ肉 2検体	米ぬか 1検体
--------	---------	---------

上記は全てスクリーニングレベル未満でした。

スクリーニング
レベル超過

山菜 ゆり根	
【総数】 2検体	【超過】 1検体
【測定結果】 48.0~82.5(大菅)	

加工食品 干し柿	
【総数】 4検体	【超過】 2検体
【測定結果】 21.7~155.2(王塚)	

※測定器：非破壊式放射能測定器(そのままはかるNDA)
 ※スクリーニングレベル(50Bq/kg)：国が定めた検査において、一般食品の基準値(100Bq/kg)を確実に下回ると判定するための値(合否の判定)です。
 ※ND(不検出)：測定結果が「ND」となっている場合は、測定値が検出限界値未満であることを示しています。
 ※上記の結果は、富岡町食品検査所に持ち込まれ測定したものであり、全てに当てはまるものではありません。

ライフ*とみおか

32

発行・編集 富岡町役場 健康づくり課

〒979-1192 富岡町大字本岡字王塚 622 番地の 1
TEL.0240-22-2111

とみおか放射線情報まとめサイト
<https://tomioka-radiation.jp/>

